

東北応援ツアーレポート
「現地を訪問して想うこと」

坪井 新一郎 昭和 33 年 理工学部卒

宮城県、2 日間のコースに参加させていただき東日本大震災のすさまじい状況を肌で感じさせられました。南三陸町被災地を当日宿泊するホテルのスタッフ、そして「語り部」に案内され、43 人の職員が犠牲者となられた防災対策庁舎訪問し、全員の冥福をお祈り致しました。

又、町全体が 1m 近く沈下し、いまだに水が多くたまっており、どのように復元されていくのか必死ですと語り部の方が申されておりました。

現地視察後、南三陸プラザにて勉強会があり、名取市で笹かまぼこの製造業をされていらっしゃる、工場が津波に流される被害にあった佐々木圭亮社長のお話を伺いました。工場再建の苦難話しをされ、全国から届く励ましの言葉が再建するにあたって大変力になったと申されておりました。

2 日間の被災地体験をさせていただきましたが、それぞれの地域の方々が日々、頑張っている姿を見て頭の下がる思いでした。

ツアー最後の宿泊ホテルで参加者全員（27 名、OB）と再会しそれぞれの学生生活の思い出を語りながら一夜を過ごしました。

機会があれば是非次回も参加したいと思ひながら帰りました。

校友会事務局のスタッフの皆様に感謝申し上げます。

以上